

令和7年度 ふくたこども園 自己評価 (自己評価シートにて 正規職員12名実施)

保育内容

【a-できている b-できているが、十分ではない c-できていない】

全体的な計画		a	b	c	全体	課題対応
1	保育所の理念、方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じた全体的な計画を編成し、計画に基づき実践している。	2	9	0	b	保育理念の理解と、実態に応じた保育計画作成を丁寧に行い、計画に基づいた実践に努める。
環境を通して行う保育、養護と教育の一体化						
2	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	7	4	0	a	一人ひとりに寄り添った状態の把握に努めるなかで、こどもの目線と目的を明確にした保育環境の整備を行う。
3	ひとり一人の子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	7	4	0	a	保育者が自身の保育実践と保育指針を照らし合わせつつ振り返り、常に保育の専門性の向上を目指していく。
4	子どもが基本的な生活習慣を身に着けることのできる環境の整備、援助を行っている。	8	3	0	a	丁寧なかかわりのなかで、一人ひとりの発達状況を理解し、「やりたい！」がうまれる環境整備や援助を行う。
5	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	4	7	0	b	環境の整備や、保育実践の部分においての問題意識はあるため、改善方法の明確化と手順の理解を深めたい。
6	0・1・2歳児の各保育において、養護と教育が一体的に展開されるような適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	3	4	0	b	それぞれの成長発達や、生活リズム等への意識はあるが、保育の実践と、必要な環境整備の方法を明確にしたい。
7	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	1	10	0	b	研修等を通じて、児童への配慮や支援、保護者との対話やケア、関係機関との連携の実践技術を高めたい。
8	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	3	8	0	b	合同保育の時間帯も、園全体としての計画を作成し、人員配置と保育環境の充実を図り、状況に応じた対応を行う。
健康管理						
9	子どもの健康管理を適切に行っている。	10	1	0	a	各世帯との関係構築のもと、家庭との情報共有や連携をとり、園全体として感染対策や、健康及び衛生管理に努める。
10	健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	6	2	3	a	家庭との連携を取り、必要に応じて専門機関等への接続に努めると共に、保育実践方法の理解を深める。
11	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	12	0	0	a	専門機関の指示に基づき、全職員による情報共有を徹底し、アレルギー食材の完全除去・解除等を行う。
食 事						
12	食事を楽しむことができるよう工夫している。	7	5	0	a	食育の実践方法を園全体として明確化し、一人ひとりに適した食事への配慮と意識を高め、食事を楽しめる時間にする。
13	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	9	1	0	a	より良い調理及び食事環境の整備・充実に努め、新メニューの作成、適切な提供方法の構築を目指す。

子育て支援

家庭と緊密な関係		a	b	c	全体	課題対応
14	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	9	2	0	a	保護者との信頼関係を築き、家庭との連携を深める中、園全体での情報共有を正確に行い適切な支援を行う。
保護者支援						
15	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	6	4	1	a	丁寧な対話のもと関係構築に努め、プライバシーへの配慮、専門性や経験を活かした適切な支援を行う。
16	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	6	4	1	a	状況を注視し正確な情報取得し、早期発見・予防等の実践方法の習得のもと、必要に応じて専門機関と連携を図る。

保育の質の向上

保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		a	b	c	全体	課題対応
17	主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	3	8	0	b	課題を明確にし、改善や質の向上につながる実践方法を、園全体として具体的に構築するなかで改善に取り組む。

◎まとめ こどもの主体性の育ちへの支援と個別対応について、知識と実践の乖離が課題として見られるため、実践方法の習得に努めなければならない。また、振り返りが質の向上へ繋がるよう、ひとり一人が変わる意識のもと、それぞれの具体的改善への取り組みを再度明確化し、園全体の課題として共通理解を十分に行うなかで実践に努めたい。また、地域に根差した子育て支援の拠点として、急速な人口減少・少子化のなかで求められる地域との関わりを考え、様々な場面での地域の居場所づくりを目指すなかで、多方面での外部との連携を強化し、地域と共に一体的な子どもの育ちへの支援を図るべく、施設内の開放空間を地域の団体等に積極的に開放し、園が地域活性化の一員となると共に、地域との連携を自園の保育やこどもたちの体験に結び付ける。